

この本を読んで、いかに日々の小事や平凡  
が大事であるかを学びました。本にあってはよ  
うに私は、大きなことばかりに目を向け、同  
じと比較し、効率を考え、自分の努力への相  
応もしくはそれ以上の対価を求めて行動して  
いたことに改めて気づきました。平凡なこと  
の一つ一つに関心をよせ、注力することの大  
事は、またそれは大変で、すぐに結果が見え  
ないことほど、ほとんどの人が疎かにして  
しまっていることを学び、だからこそ人が  
付かないような日々の何ごもがいよいよ出来  
事の一つ一つに問題意識を持ち、改善をし、  
それを常に継続して積み上げていくことでし  
か、本当の成長や本当の価値を見出すことは  
できません。またその先の成功はないのだとい  
うことが一番胸に刺さりました。日々の生活の  
中で学びがあっても、そこに問題意識を持て  
るか、また問題が起った時にどのように向  
き合えるかは、自分の意識の差であり、これ  
だけ真剣に毎日を通していきるかどうかは違

いが出てくるのだと思えます。小事への対応が一事が万事とあり、ついで他人事に、乱雑に考えたり、目を背けていたこと、一つ一つを真剣に客観的で冷静な判断し、行動することへの大事さを学ばせて頂きました。

また人を喜ばすことのためあげることについて考えたとき、自分を周りのそれぞれに対して価値がある中で、自分が良いと思っただけで行動したことで、それが違ったように感じる人もいます。仕方のない部分はあると思いますが、まず善意にっいて履き違えている部分があるのだのではいかと感じました。自分のしてあげたいいことでなく、周りが望んでいてることで、もしかしたら何かをもちと深く考えはくればならぬいと感じました。ご自身が与えるよりも求めてしまったり、自分本位に考えたりしまったり、たことも多くあります。そこを改め、人を喜ばせるためにはどうしたら良いかと考える、そこから本当に人に喜んでもらうのと

はどういうことなのかをモトと深めて考えて  
いきたいと思います。

また、人間は見ている物にばかり似てくる。  
だから、そういうも綺麗に環境を整えておく必  
要がある。汚いものになれとしまうと、今度  
は美しいものを見て美しく思えなかり、  
汚いものも、美しいものもどっちも同じ  
だと思えてくる。また、美しいものを見る  
と感動する。感動する人はいつも心が明るく、  
困難な事に耐えられるが、汚いのに慣れて

しまうと何を見て感動できず、困難に出会  
ても我慢する力がなく、逃げてしまふ。と  
あり、周りを整えることの大切さがとも腑  
に落ちました。私はがサツで乱雑にしてしま  
たり、またマイナスに物事を考えてしまいか  
らひので、まず周りを片らんと整えることか  
日々を真剣に生ずることへもつばかり、それ  
が自分の力となり、周りを尊重することでも  
あることを念頭に置き、日々の生活を見直し、  
一つ一つの平凡を重点とし努めて参ります。